

## 大使からの活動報告(7月下旬～8月)

### 当国企業への HINOトラックの大規模納車式他

2014年8月21日現在  
在グアテマラ日本大使館  
大使 川原 英一

この一月間の活動の中から、以下の活動をご紹介します。

#### ◆JOCV 隊員一行の来訪:

7月30日、当地で8月から各地に展開して活動を開始する協力隊員8名及び任期2年の満了間近の野本ボランティア企画調査員に来訪頂きました。

7月初めから1月間をアンティグアでの西語研修をされ、これからグアテマラ国内各地へ赴任される予定です。野球・体操・卓球といったスポーツ指導隊員が3名、小学校教員の算数学習指導をされる隊員が2名、栄養士、野菜栽培、廃棄物処理の指導をされる隊員が各1名です。既に各地へ派遣されている協力隊員の皆さんに対する受入れ地元関係者の間では、極めて高い評価をもらっていることが強く印象に残っていますとの野本さんからのお話もありました。今後の協力隊員の各地での活躍を大いに期待したいと思います。



#### ◆マロキン大学歯学部主催の日本の歯科医との交流

8月2日、20名を超える日本人歯科医の方々で当地でお会いする機会がありました。



ニューヨーク大学(NYU)インプラント研修プログラムの一環で、当地フランシスコ・マロキン大学歯学部における研鑽活動が2日間あり、20名を超える日本人歯科医の方々に参加されていました。今回の研修では、実際に患者さんを同時に複数治療し、なおかつ、骨移植術の併用という

高難度の症例を扱ったと伺いました。一行の歯科医の方々から、大学側の受入れ体制や患者さんがとてもフレンドリーであること、グアテマラ市が高地にあり、気候が涼しく、とても良いと好評でした。

今後、毎年、この研鑽プログラムが、フランシスコ・マロキン大学歯学部(Remiro Alfaro 学部長)で開催されると学部長から伺いました。



当方からの挨拶で、2015年は日本と中米交流年であり、交流年に因んだ活動が日本でもありますので、グアテマラを知る皆様の参加及び支援を是非頂けるよう、お願いを致しました。

#### ◆地元中学生達からの折鶴寄贈と平和メッセージ



8月5日、グアテマラ市内にあるバジェ・ベルデ(緑の溪)中学校生徒代表が当館を訪問し、生徒達自らが折った鶴を当館に寄贈してくれました。

69年前、日本への原爆投下による悲惨な経験、原爆の痛ましい犠牲者への追悼の気

持ちを伝えたいとのことでした。同中学校の生徒達は、学校の社会科で、第一次世界大戦、第二次世界大戦について学んだおり、担当のカスティージョ先生から、原爆で亡くなった少女の悲惨な話を聞いてとても感動し、平和がいかに尊いことかを考えてくれたそうです。



クラス全員で折鶴を作り、被爆者の冥福を祈り、かつ平和な世界を祈ります旨メッセージの発表が生徒達からありました。

当方からは、同校生徒達が持ってきてくれた折鶴は、犠牲者を悼み、平和を願うシンボルであり、グアテマラの中学生達が、唯一の被爆国である日本人達と同じ思いを共有してくれたことに対して、深く

感謝を致しますと御礼申し上げました。

#### ◆JICA 教育専門家が教育大臣から功労賞を授与される

8月8日、教育省内で授与式があり、デル・アギラ教育大臣(左の写真)が、河澄



JICA 教育専門家(右写真 真ん中の方)の長年にわたる当国小学校算数能力向上活動に献身的に活躍されたことに対し、功労賞を



授与されました。1982年に制定された法律に基づき、毎年、当国の教育分野に貢献のあった方1名が表彰されているとのことです。河澄さつき専門家は、今年5月に当方から公館長表彰を受けておられます。当方からもお祝いの言葉を述べさせていただきました。

### ◎染田 秀藤教授のご来訪

8月12日、染田教授(大阪大学名誉教授・関西外大教授)にお会いする機会がありました。中米で開催された国際学会に御出席からの帰途、グアテマラにお立ち寄りを頂き、



当地ランディバル大学アジア太平洋センターで日本におけるラテンアメリカ研究事情などについて講演をされました。

当方、生憎、同じ時間に別途公務がありましたので、午前中に大使館事務所でお会いを致しました。染田先生は、スペイン人であるラス・カサスの研究でよく知られ、日本に初めて御紹介をされた方です。16世紀の同人の著作「インディアスの破壊についての簡潔な報告」(岩波文庫 同教授訳)は、キリスト教化と文明化の名の下に新世界へ乗り込んだスペイン人征服者によるインディオの殺戮と搾取の実態や植民地問題に関する良い古典であるとの御指摘をされています。講演をされたランディバル大学は、当国外務省関係者の卒業生も数多くおり、また、アジア太平洋研究センターが2年前に大学内で設立されています。当方から、2015年の日・中米交流年の活動の一環として、学術・学生交流の一層の推進についてお話を申し上げました。

### ■マルティネス君(日本語成績優秀者)が訪日研修に出発

8月19日、日本での日本語研修を間近に控えたアンドレス・マルティネス君が、当館に御挨拶に来て頂きました。マルティネス君は、当地サン・カルロス



大学で行われた今年の日本語弁論大会の優勝者であり、この度、国際交流基金の招待プログラムで日本語研修のために2週間訪日する予定です。

同君は、デル・バジェ大学で、コミュニケーション・文化学を学ぶ学生です。毎週、日本語の個人教授を受けているそうです。今まで海外はドイツに旅行したことがあるそうですが、

日本は初めてということです。日本と15時間の時差があり、少し大変かも知れませんが、大いに日本での滞在を楽しんで下さい、と当方から激励の言葉を申し上げました。



### ■当国企業への HINOトラックの大規模納車式



8月21日、当地 CODACA 社において、日野トラック160台の当国企業(Mariposa)への納車式があり、出席致しました。日本側からは、市橋保彦・日野自動車取締役社長(左写真の左端の方)御一行、岩佐 薫丸紅専務取締役、鈴木敦丸紅自動車第一部長等がご出席されました。CODACA 社は1960年代から丸紅の仲介で日野自動車のトラック販売事業を展開し、現在は当地でトラックの組み立ても行っていま

す。同社は、スズキのオートバイの販売も長く行っており、当国トラック市場及びオートバイ市場で第一位を占める活躍をしております。CODACA 社の顧客へのアフターケアを重視する経営方針が当国に浸透しており、今回、当地ペプシコーラの事業を統括する Mariposa 社に対する大量納入にも結びついたとのこと。当国の年間トラック販売台数の 1 割以上となる今回の一括納車は、当国において非常に注目をされています。



### ◆国立劇場でのマリンバ・コンサート

8月21日、グアテマラ国立劇場でマリンバ・コンサート



がありました(左下写真)。マリンバはグアテマラの国民的楽器として人気があります。国内各地で活躍する



マリンバ演奏グループの合同演奏があり、併せて国防省軍楽隊との共演もありました。当国の社会福祉活動のためのチャリティーの催しであり、演奏に先立ってモリーナ大統

領夫人(右上写真 檀上の方)から支援への感謝のご挨拶がありました。演奏内容は、当国で人気のある曲、クラシック曲、ジャズと多彩な演奏でした。観客は演奏の途中から手拍子で演奏を楽しんでおりました。(了)